

小中学校の給食費完全無償化と内容充実の推進を求める請願

岩手県議会議長
城内 愛彦 様

岩手県盛岡市津志田 26-30-1
盛岡医療生活協同組合組織部内
学校給食費の無償化を求める岩手の会
共同代表 石橋 乙秀
田村 茂
比屋根 哲
山屋 理恵

【請願主旨】

令和7年12月16日、政府は令和8年度予算案を閣議決定し、小学校段階（公立）の学校給食に係る食材費（完全給食の場合、児童一人当たり月額5,200円）を補助することが盛り込まれました。私たちは、このことを大きな一歩として評価したいと思います。

しかし今回の決定は、あくまで小学校の学校給食費の「負担軽減」で、給食費の無償化を図るものではないとされており、自治体の判断によっては支援額を上回る食費について保護者負担が求められる余地を残しています。また、保護者負担がない場合でも、支援額内で収まるように食材費の切りつめや給食日数の縮減などで、給食の量や質が低下することが危惧されます。さらに、中学校の給食費の支援は予算案に盛り込まれておらず、保護者の負担は解消されていません。

私たちは、岩手県内のすべての小中学校で学校給食費の完全無償化（量・質ともに充実した学校給食を保護者負担ゼロで提供すること）を求める立場で、以下について請願します。

【請願事項】

1. 小学校の学校給食については、どの市町村も完全無償化になるよう県として市町村の実情に合わせた財政支援や必要な措置を講じること。
2. 中学校については、国の施策を待つことなく県の子育て支援の一環として中学校給食費完全無償化に向けて必要な措置を進めること。
3. 物価高騰の中でも給食の量、日数が減ることなく、量・質ともに充実した内容になるよう、県として市町村の実情に合わせた財政支援や必要な措置を講じること。